

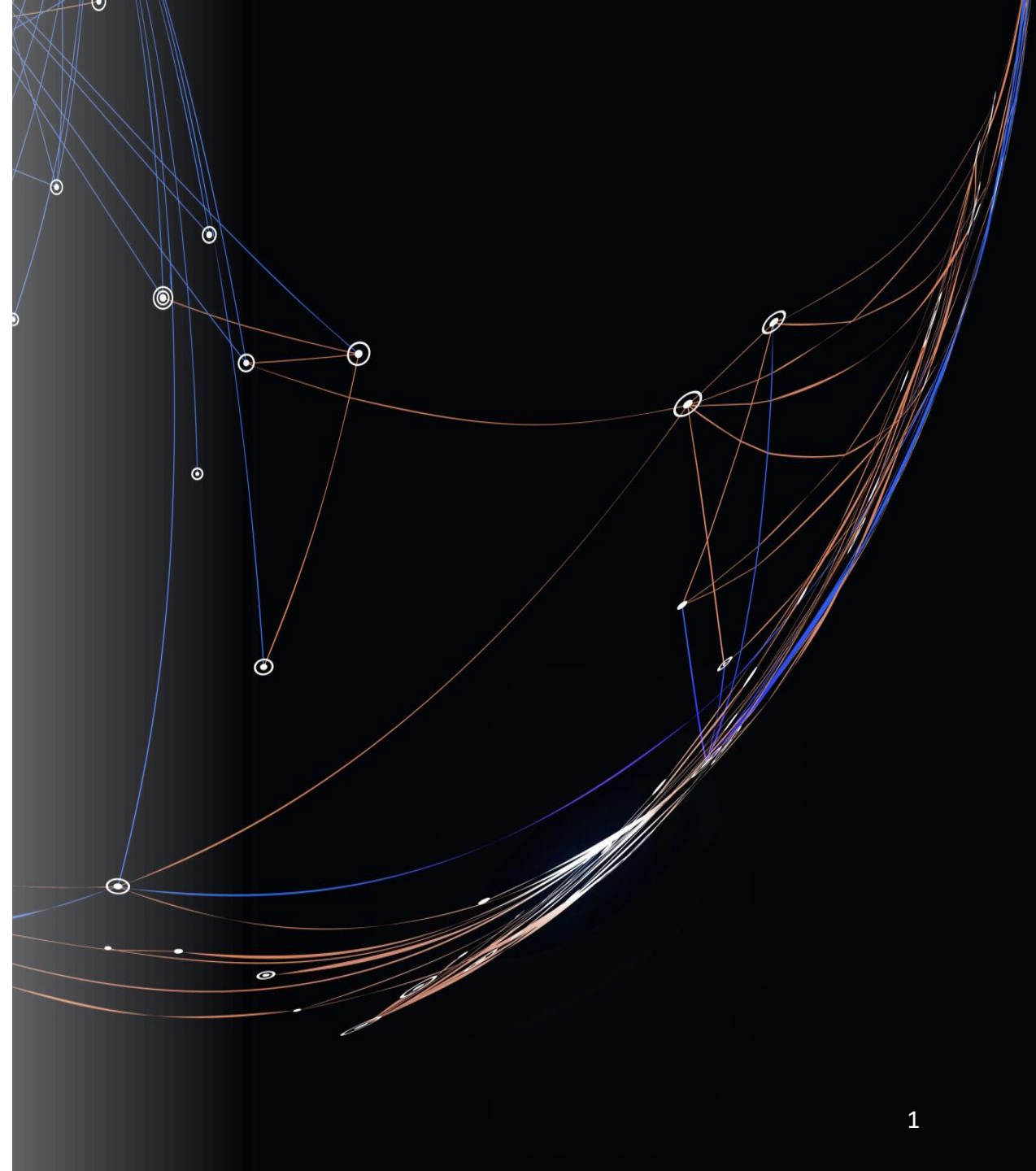
日本語教師資格 ガイダンス

2026年度 新入生対象

問い合わせ先：日本語教育センター

中林 律子 (rinakaba@asu.aasa.ac.jp)

山本 裕子 (hirokoy@asu.aasa.ac.jp)



日本語教師とは

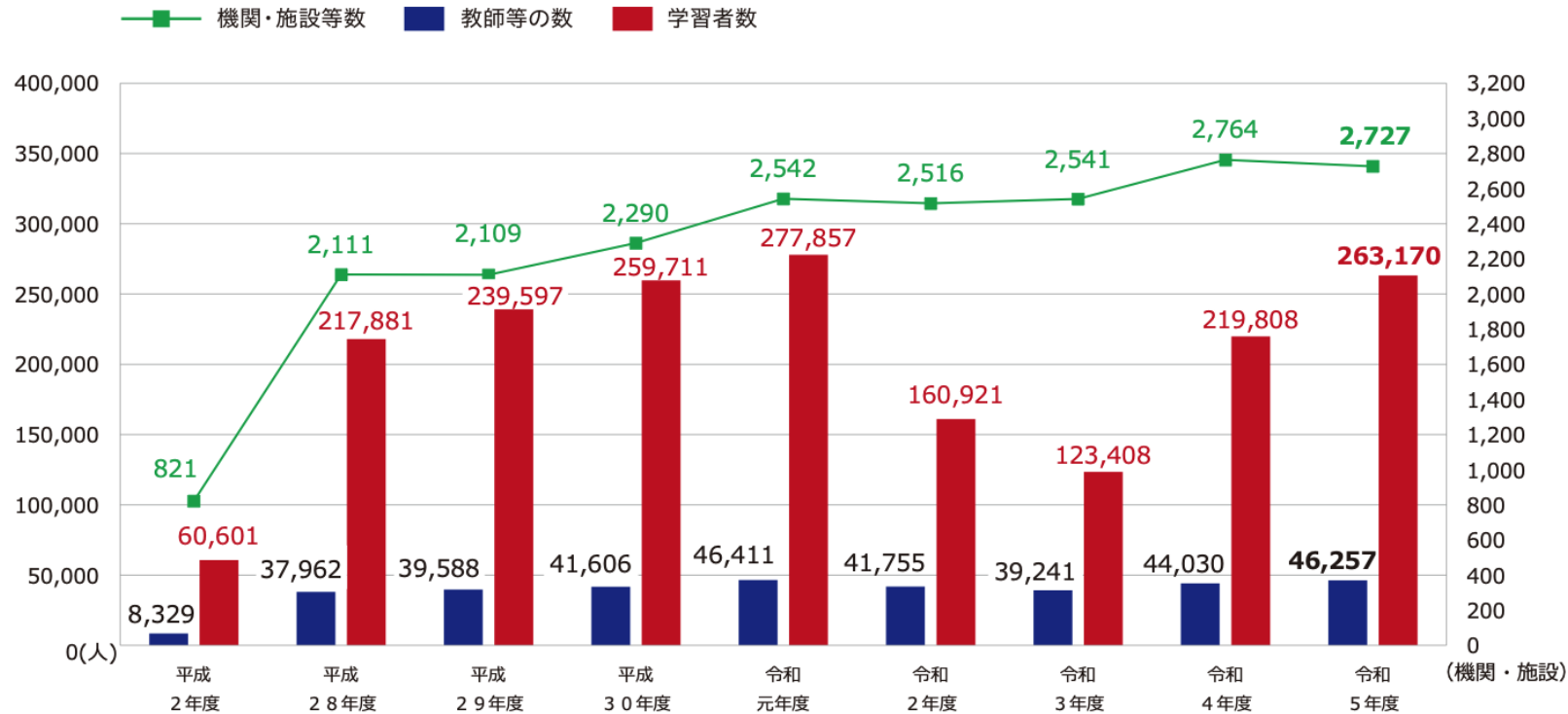
- 日本語を母語としない人を対象とした、外国語（主として第二言語・継承語）としての日本語教育に携わる仕事

【仕事の場】

- 日本語教育機関（日本語学校・大学・企業・地域の日本語教室など）
- 小・中・高等学校の外国人児童に対する日本語指導
（教員免許が必要な場合もあります）
- 日本国内だけでなく、海外でも。

国内の日本語学習者数／教育機関・施設数／日本語教師等の推移

- 国内の日本語学習者数は263,170人。
- 新型コロナウイルス感染症に関する水際対策により、日本語学習者数は一時的に減少したが、その後は増加、高い水準で推移している。
- 日本語学習者数の増加に比べ、日本語教師数の増加は緩やか。



学習者の増加により
日本語教師はますます
求められる状況

日本語教師の「資格」：「登録日本語教員」

- 令和6年度から、「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」が施行され、「日本語教師」は国家資格となりました。
- 国家資格を持った日本語教師を「登録日本語教員」といいます。
- 本学の資格課程は、新しい制度に合わせて国家資格の受験資格を得られるように、手続きを進めていく予定です。なお、現在は、新しい制度に対応するまでの移行期間にあたります。詳細は本資料のp.5-6を参照してください。

本学の養成課程はここに該当

【これまで】法務省告示基準に示された教員要件

- ①大学等において日本語教育に関する教育課程を履修して卒業等した者
- ②学士を取得し、かつ文化庁届出の研修を420単位時間以上受講し修了した者
- ③日本語教育能力検定試験に合格した者 等

移行期間：令和6年4月1日～令和15年3月31日まで

【これから】認定日本語教育機関の教員の資格

登録日本語教員（国家資格）

- ①日本語教員試験（基礎試験・応用試験）の合格
- ②実践研修の修了

※登録日本語教員養成機関が実施する養成課程の修了者は基礎試験を免除

令和6年4月1日～
令和15年3月31日まで

移行期間の扱い (現在、在学中の学生の資格取得)

現職者※1に限らず必須の50項目に対応した課程修了者

必須の50項目を実施していることが確認できた現行告示基準教員要件に該当する養成課程等を修了し、学士以上の学位を有する者

← 本学の養成課程はここ(Cルート)に該当するので、課程を修了し、卒業すると「基礎試験」「実践研修」が免除されます。

基礎試験 免除

応用試験

実践研修 免除

← 「応用試験」を受け、合格すれば「登録日本語教員」の国家資格を取得できます。

登録日本語教員

本学の日本語教師資格課程

履修要覧 p. 45~46

- 「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)改訂版」(平成31年3月4日、文化審議会国語分科会)における「日本語教師〔養成〕における教育内容」に対応する日本語教育に関する科目26単位以上を修得する課程(=副専攻相当)。
- この課程は日本語教育センター科目のほか、交流文化学部の専門教育科目で構成されていますが、他学部・他学科開放科目で構成されているため、どの学部の学生でも資格取得は可能です。

履修上の注意

- ① 履修要覧p.46にある「日本語教育科目一覧表」を参照し、必要な単位28単位を修得すること。
- ② 「言語と教育」領域の科目は、すべての科目の単位を修得する必要がある。履修年次をよく確認し、適切な順序で学修すること。
- ③ 「言語と教育」領域の科目は、卒業単位になりません。
- ④ 4年生で実習する場合は、前期（4年次の夏休み）を原則とします。

- ④ 「日本語教育実習」は以下の条件を満たした上で、各学期末に別途開催される説明会に出席し、所定の時期に実習の申請手続きをしなければ履修できない。

【日本語教育実習を履修する条件】

- 原則として3年次前期までに「言語と教育」領域の「日本語教育実習」以外の科目の単位を全て修得していること。
- 履修登録時の成績が累計GPA2.3以上であること

- ⑤ 「社会・文化・地域」「言語と社会」「言語と心理」「言語」領域は、各領域で必要な単位数を満たすように、科目群から科目を選択して、修得すること。

日本語教育実習について

2週間程度、日本語教育機関において実施します。

費用は国内25,000円（交通費は別途）、海外は渡航費等で本年度は150,000円程度の予定です（状況により変動します）。詳細は実習のオリエンテーションで改めて説明します。

オリエンテーションは例年1月に開催します。Campus Squareで日程等を案内しますので、希望する学生は、2年次（実習をする前年度）に必ず参加してください。オリエンテーションに参加しないと実習できません。

<実習先>

- 国内:近隣の日本語学校で行います。(8月または2月)
- 海外:台湾の協定校(樹人醫護管理專科學校)で8月上旬に行う予定です。

*どの教育機関も実習生の受け入れには人数の制限がありますので、希望通りに実習ができるとは限りません。多数になった場合は成績等を考慮して決定します。

日本語教師資格科目一覧

領域	科目名	必修単位	選択単位	履修年次	科目番号	開講主体
言語と教育	日本語教育入門	2		1	267002	交流文化学部
	日本語教材研究	2		2	109010	日本語教育センター
	日本語教授法 1	2		1	109011	
	日本語教授法 2	2		2	109012	
	日本語教授法 3	2		2・3	109013	
	日本語教授法 4	2		3	109014	
	日本語教育実習 (国内)	2		3・4	109015	
	日本語教育実習 (海外)		109016			
社会・文化・地域	国際理解教育論			1・2	267302	日本語教育センター
	エスニシティ論		4	2・3	267291	
	国際社会論			2・3	267309	
言語と社会	コミュニケーション論入門			1	267250	交流文化学部
	ことばとコミュニケーション			2	267317	
	言語研究 (言語と談話)		4	2・3	267316	
	多文化共生論			2・3	267303	
	異文化トレーニング			2・3	267308	
言語と心理	言語研究 (言語の習得)			2・3	267314	日本語教育センター
	言語研究 (第二言語習得論)		2	2・3	267315	
	インター・カルチャー			3・4	267319	
言語	言語研究 (日本語学 1)			1・2	267310	日本語教育センター
	言語研究 (日本語学 2)		4	1・2	267311	
	日本語学実践			2・3	267297	

4つの領域からそれぞれ必要な単位数を満たすように、履修しましょう

例えば「社会・文化・地域」領域の場合、

1科目=2単位なので、この3科目から、2科目(以上)履修して単位を取得する必要があります。

合計28単位

必修科目

履修年次を守って、**順序通りに**
履修すること

領域	科目名	必修単位	選択単位	履修年次	科目番号	開講主体
言語と教育	日本語教育入門	2		1	267002	交流文化学部
	日本語教材研究	2		2	109010	日本語教育センター
	日本語教授法 1	2		1	109011	
	日本語教授法 2	2		2	109012	
	日本語教授法 3	2		2・3	109013	
	日本語教授法 4	2		3	109014	
	日本語教育実習 (国内)	2		3・4	109015	
	日本語教育実習 (海外)		109016			

1・2年生の間に「日本語教授法4」と「実習」を除く5科目を修得できれば、3年生の前期に「日本語教授法4」を履修し、3年生の夏休みに実習に行くことができます。
(これは最速の場合です)

***卒業単位に含まれません
ので、計画的な学習が
必要です!**

参考：履修プラン（例）

遅くとも2年次には
履修をスタートしましょう！

	前期	後期
1年次	言語研究（日本語学Ⅰ） 国際理解教育論 日本語教育入門	日本語教授法Ⅰ 言語研究（日本語学Ⅱ） コミュニケーション論入門
2年次	日本語教授法Ⅱ エスニシティ論 異文化トレーニング	日本語教授法Ⅲ 日本語教材研究 言語研究（第2言語習得論）
3年次	日本語教授法Ⅳ 日本語教育実習（夏休み）	

* 赤字は必修科目

その他：注意事項

- 全ての科目は、星が丘キャンパスで開講されます。
- 交流文化学部開講科目は、卒業単位（学部認定科目の他学部・他学科開放科目）に算入されます。
- 資格取得には、**最低2年間必要**です。所属学部の必修科目等との時間割上の配慮はしないため、4年間で要件を満たすことができず資格を取得できない可能性があります。
- 教育実習の受け入れ先には人数の制限があるため、希望通りに実施できない可能性があります。

日本語教師の需要・将来性

1. 国の施策との関連

- 留学生30万人計画
- 外国人材の増加と制度変更（日本語教育が必須）

2. 愛知県の事情

- 在住外国人数が多い（全国2位）
- 実習生数は全国1位
- 外国人児童数も全国1位

受講した先輩の声

- 日本語の教え方等の授業のみでなく、日本に来た外国人の背景を知ることができたり、日本語についてもっと詳しく勉強できる授業が取れたりと、幅広く様々な授業を受けることができて、本当に学ぶことが多く、とても視野が広がりました。
- 初めは興味を抱き日本語教師資格課程を受講していましたが、授業を積み重ねて学んでいく中で、次第に日本語の奥深さ、難しさなどを実感しました。大変なことも多かったですが、新たな経験をすることができ、自分自身の学びに繋がったと考えています。
- 日本語教師に関して知識が何も無いまま学び始めましたが、教材や教授法について基礎から丁寧に学ぶことができたことがよかったと思います。実習やその前には実際に学習者と関わる機会があって、それもモチベーションにつながりました。また、私は長久手キャンパスから受講していて、履修のことで悩むこともありました。先生方が対応してくださったおかげで全ての課程を終えられました。

国家資格の取得を目指しましょう!

- 本学の資格課程を修了する(見込みの)学生は、「**応用試験**」のみの受験・合格すれば「**登録日本語教員**」の国家資格を取得できます。

基礎試験 免除

応用試験

実践研修 免除

登録日本語教員

- 国家試験の合格率は、2024年度は8.7%、2025年度は35%と難関ですが、

- 「**応用試験**」のみの合格率は70%です。

!先輩も合格しています!

教師にならなくても・・・

日本語を使って、どうコミュニケーションをするかを学ぶので

- (日本人同士・外国人との) コミュニケーション能力を身につけたい
- 外国語学習の参考にしたい

という人にも向いています。

*詳しくは「日本語教育入門」(2026年度は月4限)で!